

# 記された開成館

初代開成館、そして現存する開成館について、様々に記されてきた。書かれた開成館から、当時の姿を追う。

九月十六日茂兵衛開成館ニ至ル、館ハ即チ事務所ニシテ郡民業ノ盛ナルヲ期シ、他日区務ヲ此地ニ於テ総理アラントヲ欲シ、釀金シテ作ル所ナリ、館西洋風ニ擬シ、丹堊之ヲ塗彩シ、上ノ池ニ沈ム、恰モ蜃楼ニ似タリ、是館成リ、事務ヲ執ル秩序アリ、官吏整列威儀ヲ増ス、

## 初代「開成館」の姿

『開成社記録』より抜粋 郡山市中央図書館蔵  
明治6年(1873)の記載内容  
茂兵衛は開成社社長の阿部茂兵衛のこと。  
読点「、」を加えた。

廿七日小教院開院式ヲ行フ、蓋シ嘗テ安積、岩瀬、白河三郡ノ神官僧侶試験アリ、格ニ当ル者僅廿四人、其他ハ学業ヲ研クベキコトヲ諭サレ、相議シテ教院ヲ開カントス、幸旧開成館不用ニ属スルヲ以テ、之ヲ院トシ、祭典ヲ行ヒ、烟火、戯、諸興行ヲ催ウシ、老幼群集ス、

## 旧開成館の活用

『開成社記録』より抜粋 郡山市中央図書館蔵  
明治7年(1874)の記載内容  
読点「、」を加えた。

該村ノ中央字狐壇ニ西洋形三層楼ヲ造営ス、明治七年十月ナル、号シテ開成館ト云ヒ、旧第七区会所ト為シ、開拓事務所ヲ之ニ併ス、建坪百六十八坪ニシテ、今ノ郡役所是ナリ、(営繕費二千六百三十六円廿錢三リ、人夫一万千七十九人一郡有志ヲ以テ支弁スル者ナリ)

## 開成館建築

『分草実録』より抜粋 郡山市歴史資料館蔵  
明治14年(1881)11月14日に立岩一郎が福島県官を辞職した。  
その直後に執筆した開墾事業の記録。  
読点「、」を加えた。

三月廿七日十区会所落成ス、是日木村七等出仕、中条大属、官吏六七名来臨シ、落成式ヲ行フ、社員及ヒ区内有志者二百余名祝杯ヲ挙ク、頗ル盛宴ナリ、会所ハ即チ三層高樓ニシテ、面十五間、横八間、高五丈ナリ、西洋風ニ擬シ、玻璃窓山水ヲ射映シ、白壁丹障美麗ヲ極ハム、之レニ登レハ、移嶽磐梯東西ニ相對シ、安達太良山、那須山ト、南北ニ聳エ、三池沼前面ニ横ハリ、鏡ノ如ク五郡ノ山野寸眸中ニ落チ、実ニ能ク勝概ヲ占メタリト謂フベキナリ、

## 開成館落成式

『開成社記録』より抜粋 郡山市中央図書館蔵  
明治8年(1875)の記載内容  
読点「、」を加えた。

六月五日 月曜日  
今朝六字小野新町駅ヲ発ス、三春迄ノ間道路不宜処々嶮難アリ、十一字三春江着午飯、十二字二発シ、二字郡山江着、福島県令参事山吉氏当所江出張有之、(盛典)  
則桑野村開拓地江案内有之、差越、広大ノ土地開拓之業相成リ、実ニ可見凡百二、三十町有之、桑水田其外樹木モ試験此模様ニテハ成功無疑、人民七百二十戸位モ移住ノ由、此中央二洋室ノ盛大ナル建築有之、三階作ニテ眺望至テ宜シク最風景モ美ナリ、掛官員ヨリ彼是承リ、帰懸開拓地ヲ廻リ大略ヲ一覽イタシ候

## 大久保利通が見た開成館

『大久保利通日記』より抜粋 国立国会図書館蔵  
明治9年(1876)の明治天皇巡幸の先発として桑野村を訪れた大久保利通が見た開成館の姿。  
読点「、」を加えた。

新開墾地桑野村の開成山へ 御着輦に成り、行在所は福島県第七区の会所にて、御泊りに成りたり、この会所は西洋造りの三層館にして、美麗なる建築なり、

## 明治天皇巡幸時の開成館

『奥羽御巡幸明細日誌 第四号』より抜粋 国立国会図書館蔵  
明治9年(1876)の明治天皇巡幸の際に行在所となった開成館の姿。  
読点「、」を加えた。